

**「GX志向型住宅」の補助金支給まじり(背景)とは?**

GXとは、グリーン・トランスポーテーション(改革を表す英文)「化石燃料からクリ

**国が求める住宅性能の最終目標は省エネ等級6、松下孝建設の標準?**

本年度から「省エネ基準」義務化が始まります。しかし、義務化基準は「等級4」で、昨年度までの最高等級が義務化基準になりました。このように住宅性能は、時代の進歩で徐々に高性能化していきま

省エネ基準「等級4」も5年後には「等級5」が、義務化基準になります。国が求めている最終基準は「等級6」以上であることが、この度の「子育てグリーン住宅支援事業・GX志向型」で明らかになりました。

# GX志向型住宅に160万円の補助!

**断熱等級6以上「GX志向型住宅」の補助金支給で、国の基準、究極目標は等級6以上が確定。**

**今までの最高等級4は、最低等級にかわり、5年後は5等級が最低、25年後は6等級以上を平準化。**

## 「GX志向型住宅」応募の要件

	補助額	対象世帯	所管
GX志向型	160万円	全ての世帯	環境省

### ①鹿児島県の「省エネ基準・断熱等級6以上」UA値0.46以下

鹿児島県地域区分	6地域 伊佐市 湧水町	7地域 鹿児島市	8地域 奄美市
省エネ等級6	UA [W/mk] 0.46 ηAC 2.8	0.46 2.7	— 5.1

◆UA値(外皮平均熱貫流率) ◆ηAC値(冷房期の平均日射取得率)

### ②一次エネルギー35%以上削減

- ◎高性能エアコン◎高性能給湯器◎LED照明
- ◎節湯タイプ水栓の設置

### ③再エネを含む一次エネルギー削減率100%以上

- ◎太陽光発電の場合6k以上(地域・住宅による)

●計算を伴うので出来るだけ早期の申し込みが必要!

「補助金嫌いの松下孝建設が今回「GX志向型住宅」に参加する理由?

松下孝建設が「補助金」制度に参加しなかったのは、国の方針を否定したり、逆らってきたからではありません。「補助金」制度には予算があり、実行できる方と出来ない方に不公平感が生まれるからです。また、高性能住宅をリードしてきた松下建設の住宅では、高性能化を目指す「補助金制度」では、一台で全館冷暖房が可能な住宅でも、各居室に一台ずつ高性能エアコンが必要な場合など、求

められる要件を満たすために、「補助金」を取得する以上、建て主様に負担を強いる場合が多かったからです。

今回「GX志向型住宅」に参加するのは、松下孝建設の平準化に設定していること、基準の元になった「HEAT20」の最初の賛助会員として、G2仕様であれば、もしも「補助金」支給に定員オーバーで漏れたとしても、建て主様に迷惑が掛からないという想定からです。さらに対象が「全ての世帯」ということ、一般的にはかなり厳しい「等級6以上」の指定は2050年のCN(カーボンニュートラル)に向けて政府が、本気で舵を切ったというシグナルであると受け取ることが出来たからです。

「GX志向型住宅」の補助額や期間要件などを再チェック?

国土交通省と環境省が2024年実施している「子育てグリーン住宅支援事業」も、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、省エネ性能の高い住宅を増やすための施策ですが、子育て世帯の支援を残しつつ、今回の補助事業では、本年の「省エネ基準の義務化」を踏まえ、一戸あたり160万円の補助金が得られる住宅としていきます。

「GX志向型住宅」とは、高性能を有し、高効率省エネ機器、太陽光発電システムなどを搭載して、住宅で使うエネルギーを100%、賄うことが出来る住宅としました。

性能「等級6以上」、省エネ要件は、再エネを除いた一次エネルギー消費量の削減率が「35%以上」、創エネ要件は再エネを含む一次エネルギー消費量の削減率が「100%以上」補助対象世帯は全世帯としていきます。

再エネを含む一次エネルギー消費量が100%以上というものは「自給自足型住宅」のことです。住宅で使うエネルギーを太陽光発電システムや風力・水力などの自然由来の設備で賄う必要があります。ただし、日照時間の短い寒冷地は「75%以上」でも対象外となりました。また、土砂災害特別警戒区域や災害危険区域に立地する住宅、市街化調整区域かつ土砂災害警戒区域または浸水想定区域に該当する区域に立地する住宅は、原則対象外となっているので注意が必要です。

松下孝建設では、全ての建て主様のお役に立ちたいと願っておりますが、「GX志向型住宅」の支援事業は全く新しい補助制度でも多く、関連素材メーカーからの情報などを収集中です。これから新築を計画されている皆様は、お早めに松下孝建設にご連絡・ご用命ください。常に建て主様の不利益にならない住宅造

「GX志向型住宅」の補助額や期間要件などを再チェック?

国土交通省と環境省が2024年実施している「子育てグリーン住宅支援事業」も、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、省エネ性能の高い住宅を増やすための施策ですが、子育て世帯の支援を残しつつ、今回の補助事業では、本年の「省エネ基準の義務化」を踏まえ、一戸あたり160万円の補助金が得られる住宅としていきます。

「GX志向型住宅」とは、高性能を有し、高効率省エネ機器、太陽光発電システムなどを搭載して、住宅で使うエネルギーを100%、賄うことが出来る住宅としました。

「GX志向型住宅」の補助額や期間要件などを再チェック?

国土交通省と環境省が2024年実施している「子育てグリーン住宅支援事業」も、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、省エネ性能の高い住宅を増やすための施策ですが、子育て世帯の支援を残しつつ、今回の補助事業では、本年の「省エネ基準の義務化」を踏まえ、一戸あたり160万円の補助金が得られる住宅としていきます。

「GX志向型住宅」とは、高性能を有し、高効率省エネ機器、太陽光発電システムなどを搭載して、住宅で使うエネルギーを100%、賄うことが出来る住宅としました。

性能「等級6以上」、省エネ要件は、再エネを除いた一次エネルギー消費量の削減率が「35%以上」、創エネ要件は再エネを含む一次エネルギー消費量の削減率が「100%以上」補助対象世帯は全世帯としていきます。

再エネを含む一次エネルギー消費量が100%以上というものは「自給自足型住宅」のことです。住宅で使うエネルギーを太陽光発電システムや風力・水力などの自然由来の設備で賄う必要があります。ただし、日照時間の短い寒冷地は「75%以上」でも対象外となりました。また、土砂災害特別警戒区域や災害危険区域に立地する住宅、市街化調整区域かつ土砂災害警戒区域または浸水想定区域に該当する区域に立地する住宅は、原則対象外となっているので注意が必要です。

松下孝建設では、全ての建て主様のお役に立ちたいと願っておりますが、「GX志向型住宅」の支援事業は全く新しい補助制度でも多く、関連素材メーカーからの情報などを収集中です。これから新築を計画されている皆様は、お早めに松下孝建設にご連絡・ご用命ください。常に建て主様の不利益にならない住宅造

# 川内モデルハウス 好評公開中!!



## 快適性と共に、優れたデザイン性にもご注目ください!

平屋住宅でありながら「スキップフロア」など、他では見かけることが出来ない印象的なデザイン性の展示場が完成しました。松下孝建設の展示場は、20世紀建築界の巨匠として名高いアメリカの「フランク・ロイド・ライト」の設計手法をリスペクトしています。「スキップフロア」の下部は、物置になっているなど、随所に、生活の利便性に工夫をこらした、設計力を感じさせる仕掛けが組み込まれています。ライトの旧帝国ホテルは現在、愛知県犬山市の明治村に玄関部分が移築されて残っていますが、関東大震災の直前に建てられたにも関わらず、今でも多くの示唆を与えられる建物です。「川内モデルハウス」は「鹿屋モデルハウス」同様に、松下孝建設が開発した「循環空調システム」を搭載した、空気質の綺麗な快適な住宅ですから、ご家族揃いでお気軽にご体感ください。



# 鹿屋モデルハウス 好評公開中!!



## 松下式「循環空調システム」モデルハウスが鹿屋市に完成!

松下孝建設が開発し、多くのお施主様に指示されてきた松下式「循環空調システム」のモデルハウスが鹿屋市に完成いたしました。このシステムは、エアコン1台で暖冷房が可能なほか、TV広告の「エアードック」と同等システムが空気清浄機としてビルトイン搭載されており、室内空気が循環すればするほど清浄化するという優れた「循環空調・空気清浄」システムです。

松下孝建設の構造躯体は、国土交通省の外郭団体が主催する日本の高性能・省エネルギー工法の表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の大賞を2度受賞している優れた工法です。

是非、ご家族の皆様と共に鹿児島県の住宅の進化と共に、最新の住宅工法の快適性を体感してください。

